

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和45年4月20日発行（毎月1回20日発行）
物性研究 第14巻 第1号

vol. 14 no. 1

物性研究

1970 | 4

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0** (ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = $(a \cdot p + b) \cdot x$ + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります。すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、**o** と **a** と **0** (ゼロ)、**u** と **n** と **rr**、**c** と **e**、**l** (エル) と **1** (イチ)、**x** と **×** (カケル)、**u** と **v** 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = $(a \cdot p + b) \cdot x$ + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります。すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

基 研 研 究 会 公 募
「分子結晶における相転移と分子運動」

上記研究会を下記のような内容で7月2,3,4日に基研で開く予定です。関心をお持ちの方の参加を期待致します。参加希望の方は5月20日までに、京都大学理学部化学教室山本常信まで宿舎希望の有無を含めて御連絡下さい。その際話題をお持ちの方はその内容を簡単にお書き下さい。

予算が限られておりますので、お呼び出来る方々の決定は世話人にお任せ頂きたいと思っております。なお、御意見等がありましたらお聞かせ下さい。

世話人 伊 藤 光 男
片 岡 洋 右
中 村 伝
本 間 重 雄
山 本 常 信

(主 旨)

分子間力の anisotropic part が重要な問題の統計力学的研究は遅れていたが、近年、分子結晶を舞台として研究が進められつつある。分子結晶を扱うのは、いりまでもなく分子の回転運動には anisotropic interaction が essential であり、一方実験の側からは分子結晶についての熱測定や分光学的測定等によるデータが蓄積されているからである。分子結晶では、多重極相互作用, valence force, dispersion force さらに水素結合などを具体的に個々の分子結晶に即して取り扱う必要があり、さらに量子効果の大きいものから古典力学的に扱えるものまで多岐にわたり、相転移と分子運動の研究対象として興味深いものが多い。

例えば、簡単のために回転の自由度に限つても

(1) 回転の自由度による相転移の理論は、従来の相転移の理論に新しい一面を

掲 示 板

つけ加えることができ、

- (2) 分子の dynamics という点では、相転移点以下における回転自由度の秩序状態での excitation の本性を解明することにより、格子力学に対して新しい一面を導入できる。

この研究会では今まで行われてきた研究を総括し、次への展望を論ずることを目的とする。

具体的課題としては今回は

- (1) 水素，メタンなどの簡単な分子からなる分子結晶
- (2) ハロゲン化アンモニウム
- (3) ハロゲン化水素

等における相転移と分子運動を対象とする。

東京教育大学応用物理学教室教官公募

当教室では、下記により教官1名を公募致します。適任者の推薦及び希望者の応募をお願い致します。

1. ポ ス ト 助教授又は講師
2. 専 門 分 野 固体物性理論（出来れば実験と話の通じる方を希望します。）

当教室及び物理学教室には、現在、次のような物性理論関係のスタッフがあり、密接な協力のもとで、研究を行っております。

教 授 戸田盛和 ， 沢田克郎 ， 高野文彦

助教授 小寺武康 ， 宗田敏雄

助 手 大沢健郎 ， 高田 慧

3. 必 要 書 類 履 歴 書

論文リスト及び主要論文別刷

推薦の場合は推薦書

4. 締 切 り 昭和45年5月31日
5. 宛 先 東京都文京区大塚3-29-1

東京教育大学理学部応用物理学科主任

沢 田 克 郎

~~~~~ 。 ~~~~~

### 東京都立大学理学部物理学教室公募

下記により公募を致します。適任者の推薦，希望者の応募をお願い致します。

#### 記

1. 公募人員 教授1名，助教授1名
2. 専門分野 特に指定しない。(御申出により当教室のメンバーと研究分野のリストをお送りします。)
3. 着任時期 決定後なるべく早い時期
4. 公募締切 昭和45年5月20日(水)
5. 提出書類 (イ) 推薦の場合  
推薦書(健康に関する所見を含む)，略歴，主要業績リスト，できれば主要論文別刷  
(ロ) 応募の場合  
履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，健康診断書，研究計画および抱負
6. 提出先 東京都世田谷区深沢町2-1-1 (〒158)  
東京都立大学理学部物理学教室

主 任 岡 小 天

1970年3月3日

## 基 研 教 官 公 募

京都大学基礎物理学研究所

所 長 湯 川 秀 樹

今回、基礎物理学研究所で次の様に教官を募集致します。希望者の応募、適任者の推薦をお願い致します。

### I 教 授 1 名

- (1) 任 期 5 ± 2 年
- (2) 専門分野 「広い意味での素粒子論」
- (3) 提出書類 (イ) 応募の場合 履歴書, 発表論文リスト  
(ロ) 推薦の場合 推薦書, 略歴
- (4) 締 切 1970年6月10日(水)必着
- (5) 選考機関 基研運営委員会(6月末開催予定)
- (6) 宛 先 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

牧 二 郎

(封筒の表に「教授公募書類在中」と明記して下さい。)

### II 助 手 3 名

- (1) 専門分野及び任期
  - ① 「広い意味での素粒子論」 任期 3 ± 1.5 年 1 名
  - ② 「広い意味での物性論」 任期 3 ± 1.5 年 1 名
  - ③ 「広い意味での素粒子論」又は「広い意味での物性論」  
任期1年(但し, 1970年9月1日~1971年8月31日) \*)  
1 名

- (2) 提出書類 \*\*)
  - (イ) 応募の場合 履歴書, 研究歴, 発表論文リスト,  
就任した場合の研究計画,  
主論文以上各2通

- (ロ) 推薦の場合 推薦書, 略歴
- (3) 締 切 1970年5月10日(日) 必着
- (4) 選考機関 基研運営委員会
- (5) 宛 先 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

牧 二 郎 又は 松 田 博 嗣

(封筒の表に「助手公募書類在中」と明記して下さい。)

\*) ③は休職中の助手の空きポストですから, この任期は変更できません。

\*\*\*) ①又は②の希望者のうち, いかなる場合にも③にまわされることを希望しない方は, その旨明記して下さい。

尚, ここでいう「広い意味での素粒子論」とは, 素粒子論・原子核理論・宇宙線理論及びその周辺をさします。「広い意味での物性論」とは統計物理学・固体論・生物物理などをさします。

---

ニ ユ ー ス

---

○ 名大44年度 M.C. 卒論 (物性関係の分のみ)

| 氏 名     | 研究室          | 論 文 題 目                                         |
|---------|--------------|-------------------------------------------------|
| 石 川 正 勝 | 理 論          | バンド電子系のスピン fluctuation とその効果                    |
| 青 井 俊 夫 | 実 験          | $La_{3-x}AlGd_x$ の比熱                            |
| 太 田 正 恒 | 実 験          | FeRh 合金の核磁気共鳴による研究                              |
| 橋 本 雅 弘 | 実 験          | $La_{3-x}Gd_xAl$ での核スピン格子緩和時間への磁性不純物効果          |
| 瀬 川 新 一 | 生物物理<br>(理論) | 環状ポリエンの $\pi$ 電子系の集団運動と Hartree-Fock 方程式の解の不安定性 |



- (ロ) 推薦の場合 推薦書, 略歴
- (3) 締 切 1970年5月10日(日) 必着
- (4) 選考機関 基研運営委員会
- (5) 宛 先 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

牧 二 郎 又は 松 田 博 嗣

(封筒の表に「助手公募書類在中」と明記して下さい。)

\*) ③は休職中の助手の空きポストですから, この任期は変更できません。

\*\*\*) ①又は②の希望者のうち, いかなる場合にも③にまわされることを希望しない方は, その旨明記して下さい。

尚, ここでいう「広い意味での素粒子論」とは, 素粒子論・原子核理論・宇宙線理論及びその周辺をさします。「広い意味での物性論」とは統計物理学・固体論・生物物理などをさします。

---

ニ ユ ー ス

---

○ 名大44年度 M.C. 卒論 (物性関係の分のみ)

| 氏 名     | 研究室          | 論 文 題 目                                         |
|---------|--------------|-------------------------------------------------|
| 石 川 正 勝 | 理 論          | バンド電子系のスピン fluctuation とその効果                    |
| 青 井 俊 夫 | 実 験          | $La_{3-x}AlGd_x$ の比熱                            |
| 太 田 正 恒 | 実 験          | FeRh 合金の核磁気共鳴による研究                              |
| 橋 本 雅 弘 | 実 験          | $La_{3-x}Gd_xAl$ での核スピン格子緩和時間への磁性不純物効果          |
| 瀬 川 新 一 | 生物物理<br>(理論) | 環状ポリエンの $\pi$ 電子系の集団運動と Hartree-Fock 方程式の解の不安定性 |

ニュース・プレプリント案内

- 名大44年度 D.C. 卒論 (物性関係のみ)

| 氏名   | 研究室   | 論文題目                   |
|------|-------|------------------------|
| 佐橋稔雄 | 電子線回析 | 厚い結晶性試料の電子顕微鏡のコントラスト   |
| 中井靖男 | 電子線回析 | 試料の厚さに依存する菊地線コントラストの反転 |

人のうごき

本間重雄氏 (京大・基研)

4月1日より名大・工・応物・中野研に助手として赴任

谷憲輔氏 (京大・理化)

4月1日 Harwell 大学より帰国

---

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Identification of Tracks of Super-Heavy Cosmic Rays in Plastics (P.B.Price, R.L.Fleischer, and G.E.Nichols)
- Composition of Cosmic Rays of Atomic Number 12 to 30 (P.B.Price, D.D.Peterson, R.L.Fleischer, C.O'Ceallaigh, D.O'Sullivan, and A.Thompson)
- Can Pulsar Masses Be Determined? (P.Sutherland, G.Baym, C.Pethick, and D.Pines)
- Soft Ferroelectric Modes in Lead Titanate (G.Shirane, J.D.Axe, and J.Harada)
- Spin Correlation and Entropy (H.Falk)
- Thermodynamic Behavior of a Model Hamiltonian for a Mixture of  $He^3$  and  $He^4$  (T.Soda, K.Sawada and T.Nagata)
- Correlation Factor in Substitutional Diffusion in Binary Alloys (R.Kikuchi)

ニュース・プレプリント案内

- 名大44年度 D.C. 卒論 (物性関係のみ)

| 氏名   | 研究室   | 論文題目                   |
|------|-------|------------------------|
| 佐橋稔雄 | 電子線回析 | 厚い結晶性試料の電子顕微鏡のコントラスト   |
| 中井靖男 | 電子線回析 | 試料の厚さに依存する菊地線コントラストの反転 |

人のうごき

本間重雄氏 (京大・基研)

4月1日より名大・工・応物・中野研に助手として赴任

谷憲輔氏 (京大・理化)

4月1日 Harwell 大学より帰国

---

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Identification of Tracks of Super-Heavy Cosmic Rays in Plastics (P.B.Price, R.L.Fleischer, and G.E.Nichols)
- Composition of Cosmic Rays of Atomic Number 12 to 30 (P.B.Price, D.D.Peterson, R.L.Fleischer, C.O'Ceallaigh, D.O'Sullivan, and A.Thompson)
- Can Pulsar Masses Be Determined? (P.Sutherland, G.Baym, C.Pethick, and D.Pines)
- Soft Ferroelectric Modes in Lead Titanate (G.Shirane, J.D.Axe, and J.Harada)
- Spin Correlation and Entropy (H.Falk)
- Thermodynamic Behavior of a Model Hamiltonian for a Mixture of  $He^3$  and  $He^4$  (T.Soda, K.Sawada and T.Nagata)
- Correlation Factor in Substitutional Diffusion in Binary Alloys (R.Kikuchi)

- o Concept of the Long-Range Order in Percolation Problems  
(R. Kikuchi)
- o Self-Consistent Treatment of Anderson Model and Magnetic Susceptibility (H. Mamada and F. Takano)
- o Self-Consistent Treatment of the Wolf-Moriya Model  
(Fumiaki Shibata and Hiroshi Mamada)
- o Superconductive Properties of the Excitonic Insulator  
(R. H. Parmenter and W. R. Henson)
- o Phonon Side Bands, Multiphonon Relaxation of Excited States and Phonon Assisted Energy Transfer between Ions in Solids (Toru Miyakawa and D. L. Dexter)
- o Cooperative and Stepwise Excitation of Luminescence: Trivalent Rare Earth Ions in  $\text{Yb}^{3+}$  - Sensitized Crystals  
(Toru Miyakawa and D. L. Dexter)

{名大・理}

- o Scaling Theory for the Kondo and One-Dimensional Ising Models (P. W. Anderson, G. Yuval and D. R. Hamann)
- o The Anatomy of the Kondo Problem I. Second Order and Bare Ladder Approximations (R. D. Mattuck and C. Y. Cheung)
- o The Anatomy of the Kondo Problem II. Self-consistently Clothed Ladder Approximation (C. Y. Cheung and R. D. Mattuck)
- o Breakdown of the Weak Field Theory in the Paraconducting Region (J. P. Hurault and K. Maki)
- o High Field Surface Impedance of Dirty Type-II Superconductors in the Vortex State (R. D. McConnell, P. Monceau and Kazumi Maki)

プレプリント案内

[日大・理工]

- o Acoustic Instabilities of a Beam of Intensive Transverse Waves in Plasma (V.G.Makhan'kov and V.N.Tsytoovich)
- o The Low Frequency Echo Oscillations in Nonequilibrium Plasma (V.N.Pavlenko)
- o On Correlations of the Turbulent Pulsations in Plasma (V.G.Makhan'kov and V.N.Tsytoovich)
- o Theory of Nuclear Spin Polarization by Direct Current in Semiconductors (Feer Effect). I. Effective Parameter Approximation (V.P.Kalashnikov)
- o Theory of Nuclear Spin Polarization by Direct Current in Semiconductors (Feer Effect). II. Fokker-Plank Approximation (V.P.Kalashnikov)
- o Generalized Rotons in an Elliott Type Model (I.N.Mikhailov and E.Nadjakov)
- o Nonequilibrium Statistical Operators and Quasi-Averages in the Theory of Irreversible Processes (D.N.Zubarev)
- o Investigation of the Surface SHF-Resistance of the Second Type Superconductors (N.B.Rubin, A.A.Sabaev, Yu. I.Sminov, I.S.Khukhareva and V.G.Shabratov)
- o Electronic and Spin Excitations in Antiferrodielectric and Magnetic Moments of Optical Transitions (E.G.Petrov)
- o Eigenfunctions of a Singular Integral Operator (R.T.Denchev)
- o On the Reaction Torque and the Oblique Rotator Model for Pulsars (M.Imoto and M.Kanai)

## 「訂 正」

物性研究3月号の昨年10月中旬の液体金属研究会報告の一つ「液体金属の電子スペクトルの解析的モデル計算」に誤りがありますので、ここに訂正させていただきます。

即ち、最後のホール係数の計算は前に求めた電子の自己エネルギーの計算結果を用いて、Ward Identity から Current Vertex を求めて得た結果ですが、後にこれでは未だゲージ不変性の要求を満足していないことが解りましたので、ホール係数の項は誤りです。

以上、訂正してお詫び致します。

九大理 末 崎 幸 生

## 編 集 後 記

前編集長の米沢さんから、この仕事を引き継いで、ほぼ一年になりました。この間、いろいろな特集記事や研究会報告等の企画に、京都編集員、各地編集員の方々の協力いただき、物性研究の新しい特徴が多少とも認められるようになったのではないかと、思っています。

協力いただいたと書いたものの、実際は編集員の人々が主体になつて企画や原稿依頼をやつて下さつた訳で、小生は集まつた原稿を印刷所に渡すだけだつたような気がします。

先月号の編集後記に「“最近の紙面は編集部よりの一方的押し付けの感がある”との意見がありました。」という内容がありましたが、当編集部では、企画に対する読者諸氏の反応に期待している次第なので、特集記事や研究会報告、編集方針等に対する皆さんの活発な意見が欲しいところです。

今年度も昨年変わらず「物性研究」を愛読されん事を希望する次第です。

(S. H.)

### 物 性 研 究

第 14 卷 第 1 号  
1970年4月20日発行

|     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 発行人 | 松 田 博 嗣<br>京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館 内                 |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所<br>京都市上京区上長者町室町西入<br>TEL(441)1659(431)4789 |
| 発行所 | 物性研究刊行会<br>京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館 内                 |

## 編 集 後 記

前編集長の米沢さんから、この仕事を引き継いで、ほぼ一年になりました。この間、いろいろな特集記事や研究会報告等の企画に、京都編集員、各地編集員の方々の協力いただき、物性研究の新しい特徴が多少とも認められるようになったのではないかと、思っています。

協力いただいたと書いたものの、実際は編集員の人々が主体になつて企画や原稿依頼をやつて下さつた訳で、小生は集まつた原稿を印刷所に渡すだけだつたような気がします。

先月号の編集後記に「“最近の紙面は編集部よりの一方的押し付けの感がある”との意見がありました。」という内容がありましたが、当編集部では、企画に対する読者諸氏の反応に期待している次第なので、特集記事や研究会報告、編集方針等に対する皆さんの活発な意見が欲しいところです。

今年度も昨年変わらず「物性研究」を愛読されん事を希望する次第です。

(S. H.)

### 物 性 研 究

第 14 卷 第 1 号  
1970年4月20日発行

|     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 発行人 | 松 田 博 嗣<br>京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館 内                 |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所<br>京都市上京区上長者町室町西入<br>TEL(441)1659(431)4789 |
| 発行所 | 物性研究刊行会<br>京都市左京区北白川追分町<br>京都大学湯川記念館 内                 |



## 購読規定

### 個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

#### ※ 1年間の会費

1st volume 960円

2nd volume 960円

計 1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol.1,800円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

## 物 性 研 究 14-1 (4月号) 目 次

|                                                                                   |       |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
| ① Piezo-electric polaron の ground state energy I<br>(いづつかの optical polaron 理論の応用) | 桐本 謙吉 | 1   |
| ② フラウン運動と量子力学 (VI)                                                                | 佐田 尚寛 | 24  |
| ③ 掲 示 板                                                                           |       | 40  |
| ④ ニュース・人のうごき                                                                      |       | 44  |
| ⑤ プレプリント案内                                                                        |       | 45  |
| ⑥ 訂 正                                                                             |       | 48  |
| ⑦ 編集後記                                                                            |       | 49  |
| ⑧ 基研研究会報告<br>「励起子」                                                                |       | A-1 |

## 物 性 研 究 14-1 (4月号) 目 次

|                                                                                   |       |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
| ① Piezo-electric polaron の ground state energy I<br>(いづつかの optical polaron 理論の応用) | 桐本 謙吉 | 1   |
| ② フラウン運動と量子力学 (VI)                                                                | 佐田 尚寛 | 24  |
| ③ 掲 示 板                                                                           |       | 40  |
| ④ ニュース・人のうごき                                                                      |       | 44  |
| ⑤ プレプリント案内                                                                        |       | 45  |
| ⑥ 訂 正                                                                             |       | 48  |
| ⑦ 編集後記                                                                            |       | 49  |
| ⑧ 基研研究会報告<br>「励起子」                                                                |       | A-1 |